

# TORS実施手順

(Transoral Robotic Surgery)

頭頸部ロボット支援手術運営委員会

担当理事 楯谷一郎

委員長 塚原清彰

(2025年6月1日改訂)

1. 資格取得までのトレーニング
2. トレーニング終了から施設・術者・助手認定手続き
3. 各施設における3症例目までの手続き
4. レジストリーについて
5. プロクター認定について
6. Q&A

1. 資格取得までのトレーニング
2. トレーニング終了から施設・術者・助手認定手続き
3. 各施設における3症例目までの手続き
4. レジストリーについて
5. プロクター認定について
6. Q&A

# コンソール術者・技術的基準

日本頭頸部外科学会  
コンソール術者

- ◆ 咽喉頭癌・経口的鏡視下手術 20 例
- ◆ アシスタント術者・TORS 10 例

日本頭頸部外科学会  
頭頸部がん専門医

- ◆ 日耳鼻専門医取得後、認定施設で3年
- ◆ 頭頸部癌治療100例
- ◆ 頭頸部手術50例（指定あり）
- ◆ 頸部郭清術術者20例・助手20例

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会  
耳鼻咽喉科専門医

# 暫定コンソール術者・技術的基準

日本頭頸部外科学会  
コンソール術者

- ◆ 咽喉頭癌・経口的鏡視下手術 20 例
- ◆ アシスタント術者・TORS 10 例

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会  
耳鼻咽喉科専門医

※暫定コンソール術者は、  
頭頸部ロボット支援手術実施認定施設において、  
コンソール術者の指導下にTORSを行うことができます。

# アシスタント術者・技術的基準

日本頭頸部外科学会  
アシスタント術者

日本頭頸部外科学会  
頭頸部がん専門医

※指定トレーニング  
受講は必要

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 会員

※耳鼻咽喉科専門医である必要はありません。

# 資格取得までのトレーニング手続きおよび順序

---

- I. 頭頸部外科学会へのトレーニング申請書類提出※
- II. オンライントレーニング
- III. オンサイトトレーニング
- IV. ベーシックコース
- V. アドバンスコース
- VI. 症例見学

※細かな基準は日本頭頸部外科学会Hpをご参照ください。  
( [https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content\\_id=10](https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content_id=10) )

# コンソール術者資格取得までのトレーニング手続きおよび順序

各施設から  
頭頸部外科学会  
事務局に提出

確認後、  
学会から企業へ  
連絡

企業  
(トレーニング部門)  
が調整。  
各施設へ連絡。

- I. 頭頸部外科学会へのトレーニング申請書類提出
- II. オンライントレーニング
- III. オンサイトトレーニング
- IV. ベーシックコース
- V. アドバンスコース※
- VI. 症例見学 (1例) ※

※各施設1人目のコンソール術者の場合、  
アシスタント術者資格取得希望者と一緒を推奨する。

# 暫定コンソール術者資格取得までの トレーニング手続きおよび順序

各施設から  
頭頸部外科学会  
事務局に提出

確認後、  
学会から企業へ  
連絡

企業  
(トレーニング部門)  
が調整。  
各施設へ連絡。

- I. 頭頸部外科学会へのトレーニング申請書類提出
- II. オンライントレーニング
- III. オンサイトトレーニング
- IV. ベーシックコース
- V. アドバンスコース
- VI. 症例見学 (1例)
- VII. 日本頭頸部外科学会への資格申請

# アシスタント術者資格取得までのトレーニング手続きおよび順序

各施設から  
頭頸部外科学会  
事務局に提出

確認後、  
学会から企業へ  
連絡

企業  
(トレーニング部門)  
が調整。  
各施設へ連絡。

- I. 頭頸部外科学会へのトレーニング申請書類提出
- II. オンライントレーニング
- III. オンサイトトレーニング
- IV. ベーシックコース (省略可) ※
- V. アドバンスコース (省略可) ※
- VI. 症例見学 (1例、自施設でも可) ※ ※

※各施設1人目のアシスタント術者の場合、コンソール術者資格取得希望者と一緒を推奨する。

※※各施設1人目のアシスタント術者の場合、企業が調整する施設を推奨する。

# 頭頸部外科学会への提出書類 (コンソール術者のトレーニング申請)

---

- ◆ トレーニング受講条件チェックリスト  
( [https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content\\_id=10](https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content_id=10) )
- ◆ 頭頸部がん専門医（または頭頸部がん暫定指導医）  
の認定証コピー
- ◆ 経口的鏡視下手術を 20 例以上、  
またはロボット支援手術をアシスタント 術者として 10 例以上  
経験していることを示す症例リスト

# 頭頸部外科学会への提出書類

(暫定コンソール術者のトレーニング申請)

---

- ◆ トレーニング受講条件チェックリスト

( [https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content\\_id=10](https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content_id=10) )

- ◆ 日本耳鼻咽喉科学会専門医の認定証コピー

- ◆ 経口的鏡視下手術を 20 例以上、

またはロボット支援手術をアシスタント 術者として 10 例以上

経験していることを示す症例リスト

# 頭頸部外科学会への提出書類

## (アシスタント術者のトレーニング申請)

---

### ◆ トレーニング受講条件チェックリスト※

( [https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content\\_id=10](https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content_id=10) )

※施設2人目以降のアシスタント術者のトレーニング申請は「所属施設が既に耳鼻咽喉科・頭頸部外科におけるロボット支援手術の実施認定施設である」ことを原則とします。

ただし、当該施設への転勤が確定している場合、申請可能です。

1. 資格取得までのトレーニング
- 2. トレーニング終了から施設・術者・助手認定手続き**
3. 各施設における3症例目までの手続き
4. レジストリーについて
5. プロクター認定について
6. Q&A

# 頭頸部外科学会への提出書類（実施施設認定）

各施設から  
頭頸部外科学会  
事務局に提出

## ◆実施施設認定申請書※

( [https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content\\_id=10](https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content_id=10) )

## ◆認定術者全員分（コンソールおよびアシスタント）の修了証コピー： ベーシックコース、アドバンスコース、症例見学

学会承認後、「実施施設認定証」「コンソールおよび  
アシスタント術者トレーニング修了証」を発行します。

（注）各施設2人目以降の術者は「各自で必要書類を学会に提出」してください。  
学会承認後に各修了証を発行いたします。

※TORSを開始する前に、各施設での承認が必要です。

各施設管理者の下に設置された「高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門」

による判定を受け、承認を得てください。また、手術実施日までに学会事務局に承認証を提出してください。

1. 資格取得までのトレーニング
2. トレーニング終了から施設・術者・助手認定手続き
- 3. 各施設における3症例目までの手続き**
4. レジストリーについて
5. プロクター認定について
6. Q&A

# TORSの良い適応

- 中咽頭癌
- Tis/T1/T2
- 節外浸潤伴うLN転移なし

## 術前の確認ポイント

- Activities of Daily Living
- 既往・抗凝固薬<sub>有無</sub>
- 開口障害<sub>有無</sub>
- ASA – Physical Status
- 嚥下機能
- 放射線治療歴

# 各施設3例目までは 「委員会※による症例適応検討・承認」が必要

3例中2例は浸潤癌とする（1例は表在癌でも可）

3例目までは推奨しにくい症例：

- 中咽頭前壁癌
- 導入化学療法などの前治療歴がある症例

※頭頸部ロボット支援手術運営委員会

# 「E-mail」で症例プレゼンテーション

症例：●歳 男性 p16陽性 中咽頭右側壁癌T2N1M0

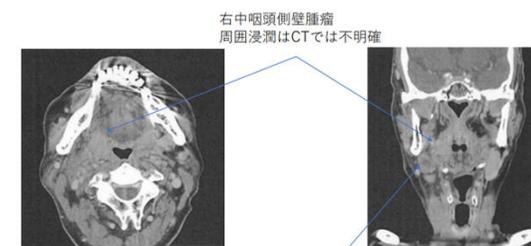
- 身長 173.7cm 体重 67.1kg BMI 22.3
- ADL 自立
- ASA-PS分類 ASA-1
- 既往症： なし
- 合併症： なし
- 重複癌： なし
- 抗血小板薬・抗凝固薬の内服： なし
- 既往治療： なし
- 開口： 次回計測
- 嚥下機能： 問題なし 兵頭スコア 次回計測
- 頸部郭清術実施日： 2022/1/13

内視鏡所見



右口蓋扁桃の腫瘍性病変  
周囲への進展なし  
舌根・喉頭蓋谷浸潤なし

頸部CT



右中咽頭側壁腫瘍  
周囲浸潤はCTでは不明確

右頸部リンパ節転移  
中心壊死を伴うLN 画像上明らかなENEなし  
頸部郭清術所見で明らかな癒着なし（病理結果待ち）

フォーマット※に記入し、委員長あてに提出  
(塚原清彰 tsuka@tokyo-med.ac.jp )  
⇒ 1週間以内に適応の可/否を回答

※フォーマット用紙については佐野大佑 (dsano@yokohama-cu.ac.jp)までお問い合わせください。

# プロクターの招聘

- ◆ 初回症例はプロクターの招聘が「必須」※
- ◆ 初回が表在癌の場合、2例目も症例が「必須」

プロクター招聘の応諾は個人間で行って下さい。  
お困りの場合は委員長までご連絡くだされば、調整します。

プロクターはHpの一覧をご覧ください。

※プロクターが行った評価結果により、2例目以降もプロクター招聘が必要となる場合があります。

# 各施設4例目以降について

---

- ◆ 4例目以降は「各施設で適応判断」
- ◆ 4例目以降もレジストリーは必須

4例目以降も「悩む症例」につきましても  
お気軽に委員会までご連絡ください。

1. 資格取得までのトレーニング
2. トレーニング終了から施設・術者・助手認定手続き
3. 各施設における3症例目までの手続き
4. **レジストリーについて**
5. プロクター認定について
6. Q&A

準備中

1. 資格取得までのトレーニング
2. トレーニング終了から施設・術者・助手認定手続き
3. 各施設における3症例目までの手続き
4. レジストリーについて
5. **プロクター認定について**
6. Q&A

## プロクターの基準（抜粋※）

---

術者あるいは指導的助手として

(ア) TORS20 例以上

(イ) TORS10 例以上（術者として5例以上）、

かつ経口的鏡視下手術 20 例以上

※細かな基準は日本頭頸部外科学会Hpをご参照ください。  
( [https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content\\_id=10](https://www.jshns.org/modules/about/index.php?content_id=10) )

# 頭頸部外科学会への提出書類（プロクター）

---

術者から  
頭頸部外科学会  
事務局に提出

- ◆ プロクター認定申請書
- ◆ 症例一覧表

学会承認後、  
「プロクター認定証」発行

1. 資格取得までのトレーニング
2. トレーニング終了から施設・術者・助手認定手続き
3. 各施設における3症例目までの手続き
4. レジストリーについて
5. プロクター認定について
- 6. Q&A**

**Q1.**

**コンソール術者が、  
アシスタント術者になることは  
できますか？**

コンソール術者はアシスタント術者に  
なれます。

---

コンソール術者資格には  
アシスタント術者資格が  
含まれています。

**Q2.**

**アシスタント術者の有資格者が  
コンソール術者申請を希望した場合、  
省略できるトレーニングは  
ありますか？**

アシスタント術者の有資格者が  
コンソール術者申請を希望した場合、省略できるトレーニングは  
**ありません。**

---

オンライントレーニングを含め、  
コンソール術者に必要なトレーニングを  
全て受けて頂く必要があります。

**Q3.**

**ベーシック/アドバンスコースに  
1施設から2名のコンソール術者や  
アシスタント術者が同時に参加する  
ことはできますか？**

ベーシック/アドバンスコースに1施設から2名の  
コンソール術者やアシスタント術者が同時に参加することは  
**原則できません※。**

---

- 修了証の発行には「一側の完全な履修」が必要です。
- 希望全施設にコンソール術者・アシスタント術者が配置されるまで「原則1施設各1名」としています。
- 1施設から2名の申請がある場合、申請時に優先順位をお伝えください。  
優先順位2番目の術者、助手は「2番目の待機リスト」に載り、トレーニング予約に空きがある場合、順次お声がけ致します。

※トレーニング予約に空きがある場合、参加できることがあります。

**Q4.**

**ベーシック/アドバンスコースに  
コンソール術者やアシスタント術者  
が1人で参加することはできますか？**

ベーシック/アドバンスコースに  
コンソール術者やアシスタント術者が1人で参加することは  
**原則できません。**

---

「A施設からコンソール術者1人で参加希望、B施設からアシスタント術者1人で参加希望などがある場合」や、「参加希望施設が1施設のみ」など、トレーニングの予約状況によっては「1人で参加可能」なこともあります。

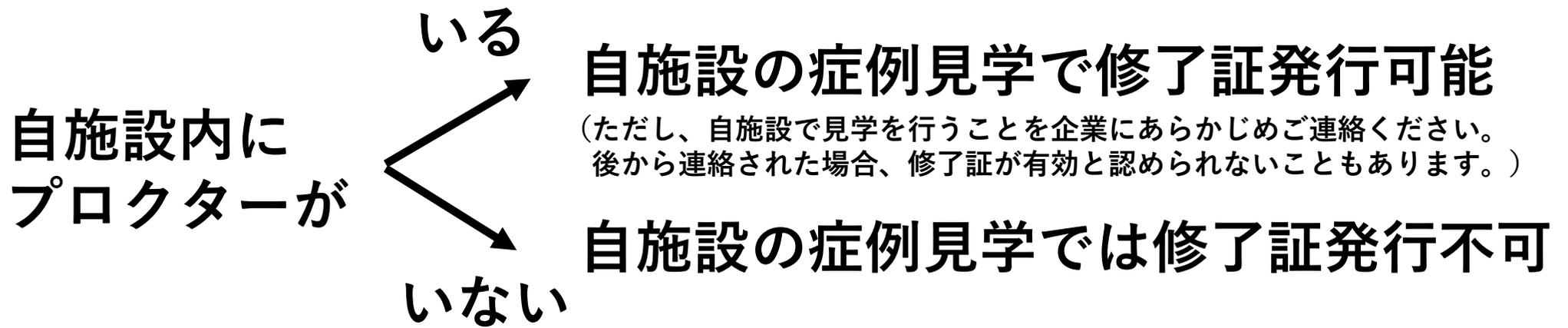
ご希望される場合は「1人で参加」を明記し、学会へ書類提出してください。また、トレーニング待機時間が長くなることもありますが、ご容赦ください。

**Q5.**

**コンソール術者に関して、  
修了証発行のための症例見学は  
どの施設でもよいのでしょうか？**

# コンソール術者に関する修了証発行のための症例見学は プロクター施設に限られます。

自施設で既にTORSを行っている場合、下記となります。



(注1) アシスタント術者に関する修了証発行のための症例見学は、非プロクター施設、自施設でも可能です。  
ただし、各施設1人目の場合、プロクター施設での症例見学を推奨します。

(注2) 症例見学を証明する書式に規定はありません。

**Q6.**

**最初の3例中2例が表在癌の場合、  
4例目から自施設で適応判断して  
よいのでしょうか？**

最初の3例中2例が表在癌の場合、  
4例目から自施設で適応判断は  
**できません。**

---

浸潤癌2例を行った後に、自施設で適応判断ができるようになります。それまでは委員会による症例適応検討が必要です。

**Q7.**

**最初の3例全てが浸潤癌でもよいので  
しょうか。**

**またその場合、4例目から自施設で適  
応判断してよいのでしょうか？**

最初の3例全てが浸潤癌でも

**全く問題ありません。**

---

またその場合、4例目から自施設での適応判断も

**全く問題ありません。**

**Q8.**

**アシスタント術者/コンソール術者の  
修了証、実施施設認定の更新手続きは  
ありますか？**

**アシスタント術者/コンソール術者の修了証、  
実施施設認定の更新手続きは  
ありません。**

---

ただし、「アシスタント術者は耳鼻咽喉科専門医資格」、  
「コンソール術者は頭頸部がん専門医資格」、「実施施設認  
定は頭頸部がん専門医制度における指定研修施設あるいは準  
認定施設資格」の喪失と共に各資格を失います。

# 申請書類送付先

日本頭頸部外科学会事務局 頭頸部ロボット支援手術委員会

〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11

一ツ橋印刷（株）学会事務センター

TEL: 03-5620-1953

FAX: 03-5620-1960

E-mail: [hns-service@onebridge.co.jp](mailto:hns-service@onebridge.co.jp)